

調査・保全担当からのお知らせとお願い

調査・保全担当理事 瀧崎 吉伸

メリケントキンソウ（キク科）*Soliva sessilis* Ruiz et Pav.

メリケントキンソウは、南米原産の繁殖力が非常に旺盛な草本です。植物体は小さく、地面に這うように広がります。よく育つと、直径40cmほどのパッチになります。

この雑草は、非常に困ったことに、果実に画鋸のような棘が出来ます。靴の裏に突き刺さって運ばれて散布するのです。この棘が危険で、うかつに手などついたり、シートを敷いて座ったりすると、大変な痛みを伴うけがをします。芝生に容易に入り込むので、競技場や公園の芝生などで、しばしば人を傷つけています。このやっかいものが、最近愛知県にも広がってきました。

以下、県内の標本記録（愛知みどりの会標本室および瀧崎保管）をあげます。

2009,5,30 豊橋市小島町 中西普佐子 3223

2011,5,20 春日井市高蔵寺町 芹沢俊介 86959

2011,6,3 名古屋市天白区道明町 渡辺幸子 6219

2011,6,10 名古屋市昭和区鶴舞 鳥居ちゑ子 2908

2012,5,18 稲沢市祖父江町 渡辺幸子 6415

2012,6,1 名古屋市名東区猪高町 鳥居ちゑ子 3057

2014,6,1 豊橋市伊古部町 瀧崎 30271

2016,4,16 田原市中山町 瀧崎 31550



このほかにも、どんどん勢力を増しているものと思われる。このままでは、公園の芝生の広場にレジャーシートを敷いて子どもを遊ばせるなどと言うことが出来なくなるかもしれません。そこで、早急に、県内の、特に公園や河川敷などの、多くの人がレジャーに活用しがちな場所を中心に分布調査をしたいのです。結果は自治体や地方新聞等にお知らせして、注意喚起や除草(手で抜くのはかなり困難。除草剤に頼らざるを得ませんが、芝生など残したい植物への影響が問題になります。)をお願いしたいと思います。

調査方法：写真(出来れば標本)をとる。

記録すべき項目 確認年月日、

確認地名（公園名など、具体的に特定出来る情報。）と緯度経度

確認した人の氏名

データの集約：自然観察指導員のメーリングリストで情報を共有出来たらと考えます。寄せられた情報は瀧崎がまとめます。